

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

安倍9条改憲NO!

改憲発議に反対する全国緊急署名

2019年7月の参院選で、安倍晋三首相の改憲に賛成する勢力が3分の2を割りました。有権者は安倍首相に憲法96条の規定による改憲発議が可能な勢力を与えませんでした。

にもかかわらず、安倍首相は民意が「改憲について論議すべき」という意思を表明したなどと、全く事実を反する強弁をしています。そして、自らの総裁任期の2021年までの改憲を目指して、野党の分断をはかり、改憲勢力の再編を狙っています。

政治が果たすべき課題は山積しています。世論の多くは安倍首相の下での改憲を望んでいません。

安倍首相が改憲に固執するのは、日本の軍事大国化をさらにすすめ、「戦争をする国」に変えようとの狙いからです。もし、9条をはじめとする安倍改憲が実現すれば、日本は米国とともに世界各地での戦争や紛争に介入・参加していくことになるでしょう。

事態は緊急です。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての市民の平和と人権、生活の向上のため、憲法を守り、生かすことを求めます。

【請願事項】

- 1、安倍首相らがすすめる憲法9条などの改憲発議に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和・人権・民主主義、生活の向上が実現する社会を求めます。

名前	住所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

連絡先(署名送付先)

- 戦争をさせない1000人委員会 【Tel.03-3526-2920】
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条を壊すな! 実行委員会 【Tel.03-3221-4668】
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402 市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター 【Tel.03-5842-5611】
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 【Tel.03-3221-5075】
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体



手をつなぎ、
未来につなぐ。

「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」

呼びかけ人

臨済宗相国寺派管長

有馬頼底



作家

落合恵子



ルポライター

鎌田 慧



諏訪中央病院名誉院長

鎌田 實



精神科医

香山リカ



ジャーナリスト

佐高 信



作家

澤地久枝



一橋大学名誉教授

杉原泰雄



小説家

瀬戸内寂聴



法政大学総長

田中優子



ジャーナリスト

田原総一郎



漫画家

ちばてつや



埼玉大学名誉教授

暉峻淑子



作家・作詞家

なかにし礼



同志社大学教授

浜 矩子



東北大学・東京大学名誉教授

樋口陽一



京都大学名誉教授

益川敏英



タレント・俳優・ミュージシャン

うじきつよし



政治学者

岡野八代



作家

北原みのり



文部科学省元事務次官

前川喜平



政治学者

山口二郎



私たちとともに

安倍9条改憲NO!
全国市民アクション

twitter.com/no9kaikenno
instagram.com/9jyokaikenno/
facebook.com/kaikenno/



kaikenno.com

必要は ありますか？

いま、 憲法を 変える

日本国憲法

9条 第1項 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
第2項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

自民党の9条改憲案

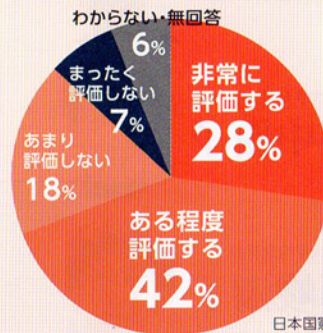
9条の2第1項 前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための**実力組織**として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる**内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊**を保持する。
第2項 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

9条が戦争の 歯止めになってきた

憲法9条があったからこそ、アメリカからのベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争などへの参加要請を拒むことができていました。

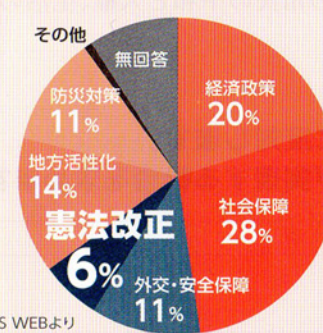
海外でも、戦争しない掟を持つ日本への信頼は高く、丸腰で中立の立場だからこそ、紛争地域での国際貢献を担うことができていました。

憲法9条をどう評価するか？



「非常に」と「ある程度」を合わせた「評価する」が70%に上り、「あまり」と「まったく」を合わせた「評価しない」を大幅に上回っています。

安倍内閣が取り組むべき課題



安倍内閣が、今後、最も力を入れて取り組むべきだと思うことを聞いたところ、「社会保障」が28%とトップで、「憲法改正」はわずか6%にとどまりました。

「自衛」の名のもとに、 戦争する国へ

改憲で憲法9条に書き込もうとしている自衛隊は、災害救助隊としての役割の自衛隊ではありません。

2015年の安保法によって武器を持って戦地に赴く、いわゆる「軍隊」として一変させられた自衛隊です。そのような武力(戦力)を持つ軍隊の存在を憲法に書き込めば、「自衛」の名目で堂々と海外での戦争へ加担することになります。

緊急事態は、人権無視!?

大規模災害やテロなどの緊急事態に関する条項を憲法に書き加えようとしています。これが発令されると、内閣が独裁権を握り、人権を無視した命令でも国民は従わなくてはなりません。

際限なく、税金が軍事費に!?

防衛費は毎年過去最高を更新する一方、社会保障費は削減されています。私たちの暮らしに必要な税金が軍事費に際限なく使われています。

↑ オスプレイ17機
3600億円

↑ F35戦闘機147機
6.2兆円

↑ イージスアショア2機
6000億円

↓ 70~74歳の医療費負担引き上げ
4000億円削減

↓ 2016年診療報酬減額、医療費
1700億円削減

憲法・いま・みらい
ホームページ

